



芭蕉誌

琉球大学同窓会関東支部会報誌

第13号

2013年10月発行



第19回 関東支部総会・懇親会 (2012年10月)

第20回総会・懇親会 (2013年10月)のお知らせ

日時: 2013年10月19日(土) 16:00 ~ 19:30

場所: 日本教育会館(9F) 喜山倶楽部 千代田区一ツ橋2-6-2

会費 4,000円 + 年会費 1,000円 (一般会員)

会費 4,000円 (終身会員)

会費 3,000円 (学生&院生)

お気軽にご参加ください。
懐かしい出会いがあります。

※ご不明の点は事務局へメールまたはお電話でご照会ください

編集発行 琉球大学同窓会関東支部・事務局

P16 ①事務局からのお願い ②編集後記

関東で存在感を! 新しい試みに取り組んでいます

支部長挨拶



琉球大学同窓会関東支部長 高山厚子

1966年 琉球大学教育学部初等教育学科卒業
1966年 東京富士貿易(株)通訳兼社長秘書
2013年 東京の小学校教諭・教頭・校長を歴任し、退職
2018年 練馬区教育委員会不登校対策室
2020年 三鷹市教育委員会就学相談員

現在、沖縄料理研究家として全国を飛び回る

著書:「緑のカーテンの恵みを食べよう」「緑のカーテン大百科(料理部門)」他

今年も日本全国で異常なほどの豪雨や災害が発生しました。関東支部の皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

さて、母校琉球大学では、開学以来、初めて琉球大学卒業生の大城肇先生が学長に就任いたしました。また、外間登美子先生が女性として初めて理事・副学長に就任されました。新たに、琉球大学が大きく羽ばたいていくことと期待しております。

本年度、関東支部同窓会では、3つの試みを実施いたします。第一は、本同窓会誌「芭蕉誌」の刷新をしました。今まで宮城事務局長一人で、取材から編集まで大変な労力をかけて取り組んでいましたが、今回からは金城利光さんが編集を引き受け、デザイナーがレイアウトを行っています。

第二に、紙面を刷新するに当たり、沖縄の優良企業の皆様に本同窓会へのご理解をいただき、広告ご出稿のご協力をお願いすることになりました。会員の皆様にもぜひ、ご出広をいただいた企業や名刺広告を出された方々への関心をお持ちいただければと思います。ご広告をお寄せいただいた皆様には心より感謝申し上げます。

第三に、次年度より、総会の時刻を昼に設定しようと模索しております。同窓会の日に、夕方から各学科やクラブ、サークルの会を開きたいという声がたくさん届いております。「10月第三土曜日は、琉球大学同窓会・関東支部の日」として、存在感を維持していきたいと願っております。

機械工学科では、かつてお世話になった教授をお招きし、今回も同日・同所で学科としての同窓会を開催します。積極的に関東支部同窓会への参加も呼びかけていただきました。皆様に置かれましても、学生時代のサークルの仲間や学科の友人と再会する場として、関東支部同窓会をご利用いただければと思います。また、同窓会が単なる親睦だけでなく、ビジネスや地域活動の輪を広げる場になればまことに幸いです。

最後になりましたが、本年も大城肇学長と幸喜徳子本部同窓会長に本誌へご挨拶をいただきました。厚くお礼申し上げます。また、本誌へご寄稿いただきました皆様、毎回同窓会を盛り上げていただいておりますクイチャパラダイスの仲本光正様とテノール歌手本村陽一様に心よりお礼申し上げます。



琉大祭(1977年)



現在の授業風景

建学の精神「自由・平等、平和・寛容」を踏まえて、 創立100周年を見据える

学長ご挨拶



第16代琉球大学学長 大城 肇

1951年6月23日鳩間島生まれ
1974年 琉球大学法文学部経済学科卒業
1977年 広島大学大学院経済学研究科修了(経済学修士)
2004年 琉球大学アジア太平洋島嶼研究センター長
2005年 琉球大学学長補佐
2008年 琉球大学副学長
2009年 琉球大学理事・副学長
2013年 琉球大学学長

例年にない猛暑が続く中、琉球大学同窓会関東支部の皆様には、お変わりなくご活躍のこととお喜び申し上げます。

この4月1日付で琉球大学の第16代学長に就任しました大城肇です。よろしく願いいたします。第16代といえば、A.リンカーンが真っ先に頭に浮かびます。学長就任に際して、本学の成り立ちを再確認していたところ、実は、琉球大学とA.リンカーンが深い因縁を持っていることがわかりました。

本学の開学式典と学長就任式は、開学した1950年5月22日ではなく、1951年2月12日に举行されました。2月12日という日は、A.リンカーンの誕生日でした。また、本学の建学の精神である「自由・平等、平和・寛容」は、A.リンカーンのゲティスバーグでの演説や大統領就任演説に流れていた理念を反映した表現となっています。

ところで、2004年度から法人化された国立大学は、現在、改革の嵐のまっただ中にあります。これまで築き上げてきた本学の伝統と特色をふまえ、その強

みを發揮して、社会のニーズや期待に応える大学に変えていかなければなりません。

創立100周年を見据えて、アジア・太平洋地域において存在感を存分に發揮し、「知の津梁」(架け橋)を体现できる大学に脱皮していきたいと考えています。同窓会の叡智はもちろんのこと、学内外の力とエネルギーを結集して、たいへん困難ではあるがチャンスでもあるこの時期をうまく乗り越えていくべく、大学運営の舵取りに当たる所存です。引き続き皆様方の変わらぬご指導とご支援をお願い申し上げます。

おわりに、琉球大学同窓会関東支部の会員皆様のみますのご健勝とご活躍、並びに貴支部の限りないご発展を祈念してやみません。

駄作を一首、「同窓と 大学づくり 智恵あわせ」。



移転前の首里キャンパス(1981年)



現在の千原キャンパス

魅力ある同窓会をめざして 後進への支援と地域への貢献を

同窓会会長ご挨拶



琉球大学同窓会会長 幸喜徳子

1966年 琉球大学教育学部保健体育学科卒

1966年 県立豊見城高等学校教諭

1967年 日本航空(株) 国際線スチュワーデス

1977年 沖縄石油ガス(株) 取締役常務

1994年 沖縄県国際交流財団 専務理事

2008年 沖縄石油ガス(株) 代表取締役社長

現在、日本簡易ガス協会沖縄支部理事、内閣府沖縄総合事務局、沖縄県等の各種委員を務める

沖縄では宮古島にサシバの飛来する季節となりましたが、関東支部の皆様にはますますお元気でご活躍のこととお喜び申し上げます。

日頃より活発に活動しておられるご様子、嬉しい限りでございます。沖縄を離れ日本の中核で同窓の皆様が各分野において成功しておられることを芭蕉誌でも報告され、うちなーんちゅとして、また同窓生としても誇らしく思っております。

インターネットのホームページも一段と充実させておられ、人材の豊かさ、協力体制の盤石さを頼もしく思っております。今後ますます若い会員の拡大に努められるとのご報告を伺い力強い限りです。

さて、今年も同窓会本部では7月に支部長会、総会、シンポジウム、懇親会の各行事を盛会裏に終えることができホッとしております。

今年は「沖縄経済の可能性と夢」と題し、内閣府沖縄総合事務局経済産業部長の能登靖様による基調報告に始まり、製造業、金融業、サービス業等の分野でご活躍のパネリストのお話を賜りました。

ウコンをはじめとする県内に分布する葉草の話、

県内の金融界の動向、県民のライフラインを支えるガス業界の活動、沖縄の染織の伝統工芸を活用したファッションショーなど多方面からのアプローチを試みました。

同窓生をはじめボランティアのファッションモデルが多数ご出演頂き、会場いっぱいのお客様の目を楽しませてくれました。沖縄の紅型で作られた豪華なウェディングドレスや絹織物の緋のスーツ、カジュアルドレス等一つ一つの作品に会場から歓声が上がりました。ステージが一体となったシンポジウムとなり嬉しい限りでした。これも高山関東支部長はじめ各支部長のご参加、そして皆様のご支援の賜物と厚く感謝申し上げます。

今後とも支部の皆様と共に、同窓生の親睦を深め、大学及び在学生の支援、地域社会への貢献を視野に入れ、琉球大学同窓会の活動を魅力あるものにして参りたいと存じております。どうぞ今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

結びに琉大関東支部のご発展と、併せて会員の皆様のご健勝を祈念し挨拶と致します。



卒業式風景(1981年)



卒業式風景(2011年)

第19回(第26期・2012年) 総会・懇親会のご報告

日時:2012年10月20日(土) 総会・懇親会15:30～18:30

場所:日本教育会館 9階 喜山倶楽部 参加者:約40名

余興:仲本光正氏(クイチャーパラダイス主宰)、本村陽一氏(テノール歌手)

第19回総会は、2012年10月20日に大城肇副学長や同窓会本部幸喜徳子会長、同比嘉忠信事務局長にご出席頂き、日本教育会館で開催いたしました。高山支部長と大城副学長のご挨拶に続き、活動報告や会計報告、新役員の紹介・承認などの総会決議は滞りなく行われています。

総会の後は懇親会に移り、仲本光正氏主宰のクイチャーパラダイスによる琉球舞踊やプロのテノール歌手本村氏によるオペラ独唱で盛り上がりを見せました。また、例年のように「久米島の久米仙」から美味しい泡盛が提供され、左党の参加者は美味を堪能することになりました。



総会 支部長挨拶



大城副学長 挨拶



懇親会の乾杯



懇親会にて:大城副学長(左:当時)と高山支部長(中)



懇親会にて:幸喜会長(左)



懇親会:機械工学科の方々



比嘉同窓会本部事務局長の挨拶



渡久山氏



当日の受付:関東支部の大幹部の面々



幸地 司 (数学科1990年卒)

アイコーチ株式会社

〒130-0021 東京都墨田区緑3丁目14-11

緑町塚本ビル5階

TEL: 03-3846-8598

FAX: 03-6659-6369

info@ai-coach.com

NIC社会保険労務士事務所 所長
ノーブル・インクルージョン(株) 代表取締役

特定社会保険労務士・CDA

永田 幸江

(H7年・法政学科卒)

〒115-0045 東京都北区赤羽1-62-12-304

TEL.03-5939-6178 FAX.03-5939-6187

Mail: info2 @office-nagata.com

機械工学科同窓会 関東支部からのお知らせ

機械工学科同窓会の関東支部は、ほぼ3カ月に1回のペースで、理事会と懇親会を開催しています。役員による理事会に引き続き、一般会員も参加しての懇親会を、日本一の繁華街銀座の、眺望もすこぶる良いビルの12階にある琉球居酒屋で開催していて、店自慢の琉球料理と泡盛を堪能しながら懇親を深めています。

会費は3,000円です。どうぞお気軽にご参加ください。お待ちしております。



理事会風景



懇親会でくつろぐ会員

第13回定例総会の案内

2年毎の定例総会を下記の要領で開催致します。今回は、山里栄昭名誉教授、親川兼勇前副学長をはじめ、若い世代の懇親の輪を広げるべく若い先生方のご臨席も予定しています。又恒例となった、プロテノール歌手の本村陽一さんの歌のご披露も予定しています。

日時：10月19日(日) 13:30～15:45 場所：日本教育会館(一ツ橋ホール)9F 喜山倶楽部

会費：1,500円 ※引続き全学部同窓会の第20回総会・懇親会(会費4,000円+年会費1,000円)へ合流します。

ゴルフ同好会の活動報告

同窓会関東支部の第14回ゴルフコンペは、2013年6月30日(日)に取手桜ヶ丘CCにおいて、関東沖縄経営者協会と合同で開催しました。当支部からは、河田先輩と幸地氏が駆けつけて頂き、筆者(宮城)と3名で参加。総勢17名。雨模様が一転、ゴルフ日和となり楽しい一日でした。

河田先輩の3パット無しの合計31パットにもビックリしましたが、幸地氏はイン11番(パー4)でセカンドショットを何と直接カップインしイーグル!! お見事でした。今後の益々の精進に期待したいと思います。

同総会関東支部のコンペの結果は下記の通りです。

優勝：宮城重哲 グロス77(イン38、アウト39)ネット73.4、

2位：幸地司氏 グロス92(イン44、アウト48)ネット75.2

3位：河田浩治氏 グロス92(イン46、アウト46)ネット77.6

合同コンペの優勝も、ベストグロス(77)に加えドラコン(約280ヤード)もゲットした小生が頂くことができました。最近、フェイスブックで「宮城流ゴルフ談義」をスタートした手前、何とか優勝できホッとしました。

ゴルフ愛好家の皆さん、関東支部ゴルフ同好会にぜひご参加ください。「友好第一、スコアは第二」をモットーに楽しみましょう。

(文責：宮城重哲)



「関東沖縄経営者協会・ゴルフ同好会仲村会長(左)からトロフィーを受け取る宮城重哲氏」

㈱有限会社 エシマエンジニアリング

代表取締役 江洲 良一
(S43年 電気学科卒)

東京都足立区千住中居町18-10 野中ビル
Tel: 03-3879-9723
メール: eshima-eng@nifty.com

新東洋機械工業(株)

(化学工業薬液用ポンプメーカー)

常務取締役 宮城 調春
(短大部2期・機械学科卒)

埼玉県越谷市谷中町2-49-1
TEL: 0489-65-8511 Fax: 0489-65-8520

長谷川 敏子



山形県 山形西高等学校卒業

法文学部法政学科 1990年入学

沖縄と山形でフリーランスのテレビ・ラジオリポーター、披露宴司会者などを経験した後、琉球放送報道部のリポーターとなり、沖縄県内各地を取材。現在は東京でフリーランスのライター、セミナー講師として活動中。

ぬち たから どうし たから 命どう宝、友どう宝

この会報誌をご覧になっている方は、沖縄人で琉球大学を卒業した方も、県外から琉大へ進学して卒業した方もいると思います。私は山形県の高校を卒業して1990年、琉大法政学科に入学。今でこそ全国的に、沖縄独特の文化と芸能、米軍基地や沖縄戦のことが知られていますが、私が大学受験した当時は、沖縄の情報はあまり多くありませんでした。ではなぜ琉大に進学したのか？それは出身地の山形が寒い雪国なので、「常夏の南の楽園」というイメージの沖縄に住みたかったから。そんな私でしたが、琉大入学後は沖縄大好きなシマナイチャーになりました。それは沖縄の心を教えてくれた沖縄人の友人たちがいたからです。

当時の琉大は、理系の学部には県外出身者も多数いましたが、文系にはまだ少数派でした。私は同学科の沖縄人とすぐに仲良くなり、自然に沖縄の言葉や文化に触れることになりました。清明祭やお盆の時に友人の家に招かれ、沖縄の伝統行事や家庭料理もそこで初めて知りました。お祝いの時の重箱やナカミのお吸い物を見た時の衝撃は、20年以上経った

今でも忘れられません。そして何より、友人たちは自分のオバアの話をしてくれて「命どう宝」や「なんくるないさ」を教えてくださいました。

琉大卒業後、一度は出身地の山形に戻りましたが、再び沖縄が恋しくなって帰沖。その後、琉球放送報道部のリポーターになるチャンスに恵まれ、6年間、北は伊是名・伊平屋から南は与那国まで取材しました。毎年「慰霊の日」前には沖縄戦のこと、「命どう宝」のことを伝える取材ができ、人間とは何かを考えさせられました。その度に、沖縄の心を教えてくれた友人たちに感謝しました。

現在、私は琉球放送勤務時代に培ったスキルを活かし、東京でライターやセミナー講師として仕事をしています。テレビの取材もライターとしての取材も、必要なのは人から話を聴き出す「人間力」です。もし私が琉大に行っていなかったら、大切な友人たちに出会っていなかったら、今の私はありません。「命(ぬち)どう宝、友(どうし)どう宝」なのです！



代表 名嘉 盛光 (体育学科1970年入学)

産婦人科医・作家

太田 靖之

(理学部海洋学科 79生)

<http://www.justmystage.com/home/yota/sub2.html>

仲本 善政



沖縄県 普天間高校卒

法文学部経済学科 1981年入学

現職：(株)沖縄銀行 東京支店長

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-9-8 ヤエスメグビル6階

二度目の東京は支店長として

皆様はじめまして、沖縄銀行東京支店・東京事務所の仲本と申します。入学は1981年、法文学部経済学科(経営学専攻)です。学生時代の思い出と言えば、悪友との飲み会、学費・小遣い稼ぎのアルバイトに精を出した事で、教室での記憶は僅かです。我ながらよく卒業できたなと思っております。

沖縄銀行へ入行し28年目で、今回が2回目の東京勤務となります。前回、平成元年から平成7年まで外部(証券会社、金融先物取引所)への出向も含め約7年間、有価証券運用部門に在籍しました。バブル経済の発生、熱狂、その後のバブル崩壊を日本経済の中心地である東京で過ごし体感した事は、今思えば非常に有意義でした。

デフレ克服を目的とする所謂「アベノミクス」、黒田日銀総裁による「異次元金融緩和」は、バブル退治を目的とした「総量規制」(大蔵省銀行局長通達{土地関連融資の抑制について})や当時の三重野日銀総裁のもとで実施された「公定歩合の引き上げ」等の財政・金融政策の逆バージョンの様相を呈しており隔世の感があります。

昨年4月からは、東京支店長兼東京事務所長として勤務しております。弊行の東京支店は、1973年(昭和48年)10月に開店し主に県内企業の東京支店や沖縄県出身の個人のお客様、県内企業とお取引のある大手本土企業等に支えられ今年で開店40周年を迎えることになりました。東京支店と併設で東京事務所がありますが、事務所の主な業務は、様々なジャンルの情報収集活動及び本部への発信、人材の採用活動等です。情報収集と言っても守備範囲は多岐にわたっており、常にアンテナを高くしネットワーク作りに邁進しているところです。同窓会の皆様とも様々な角度から情報交換、交流が出来ればと思っておりますので宜しくお願いします。東京支店・事務所の場所は、東京駅の八重洲通り沿いですので、近くへお越しの際は是非お立ち寄りください。

最後になりましたが、同窓会の益々のご発展と会員各位のご健勝をお祈りいたします。

平成25年8月8日



東京支社

支社長 比嘉 敏幸
Higa Toshiyuki

沖縄タイムス社

支社 〒104-0061 中央区銀座2-4-1 (銀座ビル内)
Tel.03-3535-3486 Fax.03-3535-3485

本社 〒900-8678 沖縄県那覇市久茂地2-2-2 Tel.098-860-3000



株式会社NTTデータ・アイ

金城 卓

(機械システム工学科1998年卒)

東京都新宿区揚場町1番18号 飯田橋ビル

TEL (03) 6280-7800 (代) FAX (03) 6280-7860



京都府 京都府立八幡高等学校(現在:京都八幡高等学校)卒

理学部海洋学科 1979年入学

琉大卒業後、伊藤ハムに入社。その後、化粧品原料メーカーの(株)テクノブルに転職し、プラセンタエキスや海洋植物エキス、コウジ酸などの研究開発に従事。(株)ディーエイチシーに転職後、東京海洋大学大学院で博士号(海洋科学)取得。現在、(株)DHC海洋深層水研究所の所長として、海洋深層水を使った「美と健康」についての研究開発を行っている。

忘れられない比嘉先生の あの言葉、あの出来事

海が好きなので琉大の海洋学科に進学し、京都から沖縄に行った僕は、沖縄の海の美しさに本当にびっくりしました！79年入学の僕らが学んだのは首里と西原の両方のキャンパスで、首里のプレハブ校舎では講義中にハブが出て「ハブ休講」があったのを覚えています。それから、真っ白な登録カードを片手に体育館を運動会のように走り回って受講する講義を登録したことも忘れられません。僕は一般教養の「保健体育講義2」の単位を一度落としてしまい、卒業できるか不安でした。いまだに「保健体育講義2の単位が取れずに卒業できなかった！」という夢を見て飛び起きることがあるくらいです(笑)。

僕が在籍した海洋学科の比嘉辰雄研究室では、卒業条件のひとつが「新規化合物を見つけること」で、実験を重ねた僕は幸いなことに4年生の6月頃に新規化合物を見つけることができました。しかし比嘉先生から「卒論はまだ書くな」と言われ、約半年後によく書くことを許されて「緑藻類フサシオグサから分離した新規化合物」という卒論を書きました。

今思えば、実験による発見はクジに当たるようなもので、当たり玉が1回で出ることもあるし、100回でも出ないこともある。僕はたまたま早く当たり玉が出た感じだったのです。先生はそれを僕に教えようとしたのでしょう。

もうひとつ思い出深いことがあります。海洋学は有機化学の分野なので、溶媒を使って様々な物質を抽出しますが、僕らの研究室には溶媒を再利用するという約束事がありました。再利用する作業は時間も手間もかかるので面倒になった僕は、再利用できるはずの液体を廃棄処分用の缶に入れようとしてしまった。それが比嘉先生に見つかって「山田、ウソはいけない」と2時間たっぷりお説教されたのです。

現在、テレビや新聞のニュースで研究データ詐称などの話題が取り上げられることがあります。企業の研究者となった僕の頭の中にはいつも、比嘉先生が仰った「山田、ウソはいけない」という言葉が浮かんで来て、今ではとても有難いと思っています。海洋学科ならではの海洋全般についてはもちろん、比嘉先生が教えて下さった哲学的なことも含め、大学時代に学んだこと全てが今の僕の仕事にとっても役立っています。

(財)全国退職教職員生きがい支援協会
(中央教育審議会委員)東京沖縄県人会長

理事長 **渡久山 長輝**
(S 35年物理学科卒)

東京都新宿区南元町23 公立共済四谷ビル
TEL:03-5919-2391 (代) FAX:03-5919-2392

関東沖縄経営者協会会長
美ら島沖縄大使

(株)日本アドバンス 代表取締役
重田 辰弥
(1959年 法政学科入学)

東京都港区芝5-13-11 第2二葉ビル

最勝寺 久尚



鹿児島県 加治木高等学校卒
保健学部保健学科 1974入学
元神奈川県職員(県立足柄上病院医療局検査部)
現アロマ整体とリフレクソロジーの店代表

オリンピックイヤーは同窓会

2012年5月、ロンドンオリンピックが開催されたこの年に、4年ぶりに那覇空港に降り立った。翌日には昔の仲間と一献傾けることができる、待ちに待った同窓会のための沖縄なのだ。到着ロビーを抜け、ゆいレール的那覇空港駅へ向かうと梅雨入り間近の生温い湿った空気が肌にまとわりつく。この感覚が遠い懐かしい想いを蘇らせてくれる。

1974年4月、受験で初フライトした時は、友人と二人だったこともあり恐怖心なども感じることなく(というよりはあまり記憶にないのだが)、鹿児島空港を飛び立ってドキドキしっぱなしの1時間10分だった。親元を離れて暮らすのはもちろん初めてのことで不安はあるものの、それ以上に希望に満ち溢れていたものだ。鹿児島も暑い南国と言われてはいるが、沖縄の暑さは経験したことのない、まさに太陽の熱で熱せられた空気が体を突き抜けていくような暑さに真新しいジャケットを脱ぎ捨てたのを覚えている。

われわれ74年生が卒業した翌年の1979年に琉球大学のキャンパスは首里城跡から西原に移転するの

だが、当時は守礼門を横に本部ビルに向かって緩やかな坂を登ると左に図書館、右に生協の売店と食堂があり、那覇市内を一望できた。また龍潭池越しに臨むキャンパスは大学の案内にも掲載されていて沖縄の最高学府としての佇まいを感じたものだが、今は首里城に取って代わった。首里城跡が復元されてからは当時の大学の面影を残すところはほとんど無くなったが、私にとって唯一懐かしさを覚えるのは、当蔵の交差点から右手の男子寮跡の沖縄県立芸術大学を過ぎ、弁財天堂を見下ろしながら守礼門に向かう通いなれた道を散策する時であろうか。

さて、私は神奈川県を勧奨退職した2006年に沖縄を旅しようと思ったのだが、保健学科6期生(74年生)の仲間が無性に会いたくなり、数人と連絡を取り久しぶりに会うことになったのだ。ところが、28年ぶりに会う顔も含まれていたため、この際同期生全員に声をかけて同窓会を開催しようということになり、結局、福岡、埼玉、神奈川、宮古島からも駆けつけてくれた。その時の盛り上がりは、まるで学生時代に戻って化学実験が薬理実習を思わせるような賑わいであった。終宴間際になると誰からともなく次の開催をどうするかの声が上がり、オリンピックイヤーなら忘れずに集まれるだろうということになった。

それ以来、同窓会は2008年の北京、2012年のロンドンと回を重ね、今回は2016年リオデジャネイロである。その時は全員が還暦過ぎの「おじい、おばあ」になっている。

そう、2020年が東京に決まれば、開催地を東京にするのもいいねえ。

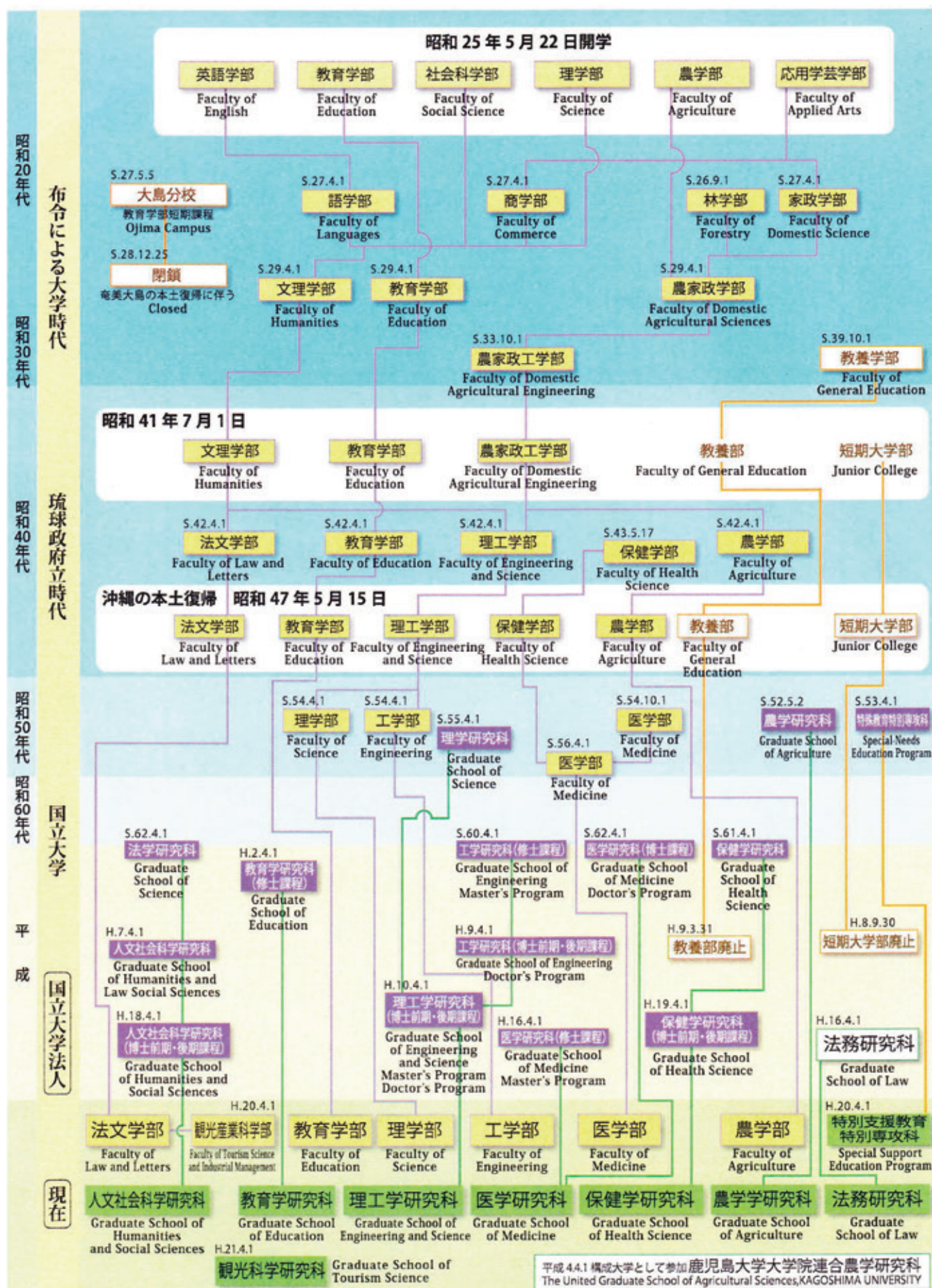
それではみんな「ガンジューシミソーリョー(元気でいて下さい)」

沖縄三線音楽
クイチャーパラダイス

代表 仲本 光正

TEL 03-3982-2446
FAX 03-3982-2644

〒170-0013
東京都豊島区東池袋1-28-1 タクトTOビル606号室



※この頁は、琉球大学のご了承を得て、『平成25年度琉球大学概要』より転載しています。

※『平成25年度琉球大学概要』は琉球大学のホームページで見ることができます。

トピック

クイチャーパラダイスがアメリカ公演

琉大同窓会関東支部が誇る、仲本氏率いる「クイチャーパラダイス」は、CIOFF(ユネスコの諮問機関)主宰のイベントに招かれ「アメリカ公演」(2013年7月17日～28日)に総勢20数名で参加しました。

一昨年の台湾、昨年のブルガリアに続き今年は3回目で、米国ノースカロライナ州にて開催され大好評でした。



トピック

「琉球大での講義」

法文学部法政学科 959年入学 重田 辰弥

会社リタイアの直前、琉球大学から非常勤講師の委嘱を受け、学生向け講義に行ってきた。講義と言っても学術的な研究授業ではなく、理工、文系全学部1年から4年までの横断学年生向けの「キャリア概論」。私の拝命は教育学部の知人教授の推薦によるものでした。

このカリキュラムは教授による学術的授業以外に、様々なキャリアをもつ一般社会人の経験談を学生に紹介することによって、彼らの進路、キャリア形成の参考に供するという言葉は従来の狭い大学授業の壁を破る教養学部主催の革新的シラバスか。

私はこれまでも日大、琉大、沖国大で何度か講義をしてきましたが、学生のレポート採点は今回初めてで、70名を越す聴講生の感想レポート採点は大変でした。勢い丁寧、長文のレポートに高採点、短文乱暴筆跡には厳しい形式採点となりました。

中には何人か机にうつ伏せ居眠りの単位取得目的の学生がいましたが、学部、名前が確認できず、採点に反映出来なかったのは反省でした。

とは言え、こういう機会を得ることはテキスト作成等の自分自身の啓発、研修になります。ご推薦の富士栄先生有難うございました。

ブログ「美ら島沖縄大使」便り 2013年07月02日 より転載



講義する重田氏



中には不埒な受講生もいた

連載!

海外からの便り

「花の都シドニー」

教育学部教育学科
1954年卒
関東支部顧問
中島 政彦



ロングステイを楽しんでいる私達は、シドニーの都心から電車で16分のチャッチウードのアパートを選んだ。

オーストラリア人は家庭団欒を優先し、商店街も6時には閉店するし、職場も5時には退社する。私達は毎夕アパート周辺を散策したが、住宅も庭園も広く、週末には美しく手入れした庭園を通行人や観光客に開放している。私達はABC放送局が毎年開催する「ガーデニング オーストラリア エキスポ」を見学した。格安のシニア料金(13ドル)で、オーストラリアの名花や世界の珍しい花を観賞した。日本では図鑑でしか見られない椿の新種や、壁にのみ成育する珍しい花が陳列されており、思わずカメラに収めた。

家庭栽培のコーナーでは「都会生活と緑をどう共存させるか」の講演があり、自然に恵まれた国にも拘わらず、環境問題を真剣に取り組んでいる姿勢には頭が下がった。特に目をひいたのは近年注目の有機栽培のレクチャーや、花木を芸術的に表現したアートコーナーであった。日本では余り見られなくなった床の間の生け花もオーストラリアの花で見事に飾られ、暫し郷愁の念に浸った。

帰路、植木市を見学したが、卸売市場には多くの老夫婦が訪れており、その一角の喫茶店ではオーガニックのパン、コーヒー、ジャム、ハチミツ、ケーキが用意され、訪問客を和ませてくれる。

オーストラリアは国民全体が花を愛し、各家庭では平均13種の花木が植えられており、売上額はスパゲティ・ピザパイを越えている。オーストラリア人は雄大な自然に抱かれているものの、自然の美しさを家庭に取り組み余裕を持っている。

私達夫婦は今回のロングステイで、花を愛するオーストラリア人の心優しさに触れ、この貴重な体験を今後の生活に生かしていきたいと思った。

2012年度活動報告 (2012年11月～2013年10月)

2012年

11月10日(火) 第1回幹事会

2013年

2月9日(土) 第2回幹事会

4月20日(土) 第3回幹事会

6月8日(土) 第4回幹事会

6月30日(日) 第14回ゴルフ大会

2013年

7月13日(土) 会報誌編集会議

8月10日(土) 第5回幹事会

9月2日(火) 会報誌緊急最終編集会議

9月14日(土) 第6回幹事会

10月19日(土) 第20回 関東支部総会&懇親会

2013年度活動方針 (2013年11月～2014年10月)

1. 琉球大学同窓会関東支部(以下当支部)の会員数を増やし、組織拡大を図る。
2. 当支部の会報誌「芭蕉誌」の充実を図る。
3. ホームページやフェイスブック等の活用し、当支部の活性化を図る。
4. 毎年10月の第3土曜日に開催する当支部の総会・懇親会への参加者を増やす。
 - ① そのために総会・懇親会の参加会費を大幅ダウンする。
 - ② 当支部会員のネットワークを拡充し、口コミによる告知を増やす。
 - ③ 次回(2014年)以降の総会開催時間を午前からにし(案:11:30～14:00)、
その後は各学科やサークルの同窓会の機会として活用できるようにする。
5. 各学科やサークルの同窓会活動をバックアップし、当支部の活性化につなげる。
6. 会報誌への広告や当支部への寄付を仰ぎ、当支部の財政基盤の充実を図る。
7. 2014年度総会は2014年10月18日(土)の予定(会場は毎年、申込みして決定)。

一般社団法人『おきなわ食と健康のアイランド』

理事長 **高山 厚子**

(初等教育学科 S41 年卒)
沖縄料理研究家

メール: takayama2002atsuko@yahoo.co.jp
ブログ: 「空飛ぶあっちゃん」発信中

(株)沖縄銀行東京支店

支店長 **仲本 善政**

(経済学科 1981 年入学)

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-9-8
ヤエスメッグビル6階

株式会社三洋堂ホールディングス

代表取締役 最高執行役員 CEO 社長

加藤 和裕

(史学科 1983 年卒)

〒467-0856 名古屋市瑞穂区新開町18-22
Tel:052-871-3434 Fax:052-871-3470
<http://www.sanyodo.co.jp>

中島信一郎法律事務所

弁護士 **中島 信一郎**

(1975 年法政学科入学)

住所: 〒104-0061 中央区銀座4丁目9-6
陽光銀座三原橋ビル6階
電話: 03-6226-2200

2012年度決算報告 & 2013年度予算案

単位:円

収支報告書		期首予算	差額	摘要
収入				
前期繰越	819,011	819,011	0	
総会費	168,000	360,000	-192,000	出席者減(28名)
年会費	82,000	100,000	-18,000	
寄付金	19,000	20,000	-1,000	
組織強化金(本部より)	100,000	100,000	0	
広告料収入	65,000	50,000	15,000	
受取利息	70	0	70	
合計	1,253,081	1,449,011	-195,930	
支出				
事務用品費	62,766	40,000	22,766	
通信費	95,037	100,000	-4,963	
名簿作成費		0	0	
会報作成費	65,100	90,000	-24,900	
総会費	205,000	360,000	-155,000	
会議費	48,136	50,000	-1,864	
雑費	18,520	3,000	15,520	
次期繰越	758,522	806,011	-47,489	
合計	1,253,081	1,449,011	-195,930	

来期予算	摘要
収入	
758,522	
360,000	60名
100,000	100名
20,000	
100,000	
50,000	
0	
1,388,522	
支出	
40,000	
100,000	
0	
140,000	
360,000	
50,000	
3,000	
695,522	
1,388,522	

貸借対照表(13.3.31現在)			
資産の部		負債・繰越金の部	
普通預金	758,522	未払金	
未収金	0	次期繰越金	758,522
合計	758,522	合計	758,522

2013年度 役員名簿

支 部 長	高山 厚子	初等教育学科	1966年卒
副支部長	仲里 朝幸	数学科	1960年卒
副支部長	崎浜 浩一	機械工学科	1965年卒
副支部長	島袋 朝順	電気工学科	1968年卒
副支部長	江洲 良一	電気工学科	1968年卒
副支部長	仲本 光正	経済学科	1981年卒
副支部長	名嘉 盛光	体育学科	1974年卒
副支部長	中島 信一郎	法政学科	1979年卒
事務局長	宮城 重哲	法政学科	1976年卒
事務局次長	三村 邦彦	電情工学科	1992年卒
事務局次長	糸数 昌史	電気情報工学科	1991年卒
事務局次長	永田 幸江	法政学科	1995年卒
芸能部次長	比嘉 千都代	心理学科	1968年卒
総務部長	池田 正人	経済学科	1990年卒
会計部長	大城 寿輪子	家政学科	1989年卒
会計監査	朝倉 明	海洋学科	1984年卒
顧 問	渡久山 長輝	物理学科	1960年卒
顧 問	桑江 良奉	英文学科	1950年卒
顧 問	中島 政彦	教育学科	1954年卒
顧 問	喜友名 朝昭	商学科	1961年卒
顧 問	砂川 義信	法政学科	1964年卒
顧 問	重田 辰弥	法政学科	1959年入

宮城 悟

(法政学科1979年卒)

国際心相科学学会 会長
〒111-0031 東京都台東区千束1-6-1-905
Tel: 03-5808-3639



**この島は
元気です**

鹿児島県久米島の久米仙 www.k-kumesen.com
本社・工場/沖縄県島尻郡久米島町字江城2157 TEL.098-985-2276(代)

第12期 琉球大学機械工学科同窓会関東支部

事務長 **新里 智庸**
(機械工学科10期)

自宅電話: 043-461-5049
E-mail: noribo@ace.ocn.ne.jp

事務局からのお願い

総会・懇親会へのご出席

琉大の出身者で関東にお住まいの方は、全て同窓会関東支部の会員です。毎年、10月の第3土曜日の総会・懇親会にはお気軽にご出席下さい。かつての学科やサークルの仲間と会う機会としてご利用いただき、同窓会を盛り上げて下さい。

同窓会年会費の納入

同窓会の運営費は会員の年会費で賄われています。皆様のご協力をお願いします。新たに終身会員（会費10,000円）制度も設けましたのでご利用下さい。
年会費：1,000円／終身会費：10,000円

関東支部へのご寄付

同窓会では、会員相互の懇親だけでなく、後進への支援や社会への貢献も推進していきたいと考えています。そのための資金として、有志の皆様にご寄付をお願いする次第です。

年会費・ご寄付の振込先

郵便局 口座記号番号 00160-3-413900

琉球大学同窓会関東支部 宛

琉球大学同窓会 関東支部事務局

支部長：高山厚子（初等教育学科 1962年入学）

事務局長：宮城重哲（法政学科 1972年入学）

連絡先：メール：shigenori_miyagi@yahoo.co.jp

事務局住所：〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目9-6

陽光銀座三原橋ビル6階

（中島信一郎法律事務所内）Tel：03-6226-2200

ホームページ：<http://www.ryudai-dousoukai.jp/kantou/>

事務局版：<http://www.seepa.jp/u/ryudai-dousoukai-kantou/>

編集後記

関東支部の会報誌は第4号から第12号まで、私の拙いIT技術と機動力で制作してきました。職場訪問をはじめ数々のインタビューから記事作成、はたまた名刺広告と我ながらよくやってきたなどの思いです。その活動の中で素晴らしい同窓生の方々との出会いがあり、それは何物にも代えがたい私の財産になりました。今年は「会報誌・編集委員会」を立ち上げ、会報誌そのものもプロ仕様に変更し、これまでとは比較にならない出来となりました。今後は、会報誌もさることながら若手の方々の参加も促し、同窓会そのものが更に活性化できればと期待しています。多くの有志のご参加を募りたい!!（宮城重哲）

当支部の事務局長である宮城氏は、左に「我ながらよくやってきた」とさりと述べておられるが、経験のある方はこれだけの冊子を独力で作ることがいかに大変なことかよく理解できると思う。取材、原稿執筆、寄稿依頼、編集、印刷手配・・・、さらに広告営業まで！前号を手にとって、そのあまりの労苦を思い驚愕し落涙した（笑）。編集については門前の小僧に過ぎないが思わず、お手伝いします、と言ってしまった。が、結果はご覧の通り不十分な出来である。次回に捲土重来を期したい。最後になって恐縮であるが、宮城氏はじめ編集に際してご教示・ご協力いただいた皆様に衷心より感謝申し上げたい。（金城利光）

芭蕉誌 第13号 琉球大学同窓会関東支部会報誌

【禁・無断転載】

発行人：宮城重哲（法政学科 1972入学）

発行日：2013年9月14日

編集人：金城利光（法政学科 1975入学）

発行所：琉球大学同窓会関東支部事務局